

「ファブ社会」の展望に関する検討会 開催要綱（案）

1 目的

「3Dプリンター」等に代表されるデジタルファブリケーション機器の普及により、個人がネットワークを介して参加する「ソーシャルファブリケーション」といった新しいものづくりの形態が可能となっている。今後、このような新しい「ものづくり」の動きが、生活、文化、産業等の変容を通じて社会に与える影響を検討し、今後の「ファブ社会」を展望するため、有識者による検討会を開催する。

2 名称

本検討会は、「『ファブ社会』の展望に関する検討会」と称する。

3 検討事項

- (1) デジタルファブリケーション技術とイノベーション
- (2) ソーシャルファブリケーションがもたらす新たな生活、文化、産業等
- (3) 「ファブ社会」の可能性とその発展のための課題
- (4) その他

4 構成及び運営

- (1) 本検討会は、情報通信政策研究所長の研究会として開催する。
- (2) 本検討会の構成員及びアドバイザーは、別紙1のとおりとする。
- (3) 本検討会には座長を置く。
- (4) 座長は、本検討会を招集し、主宰する。
- (5) 座長は、必要があると認めるときは、座長代理を指名することができる。
- (6) 座長代理は、座長を補佐し、座長が不在のときは、座長に代わって本検討会を招集し、主宰する。
- (7) 本検討会は公開とし、会議資料、議事要旨は原則、公表する。
- (8) その他、本検討会の運営に必要な事項は、座長が定めるところによる。

5 開催時期

本検討会の開催期間は、平成26年1月から平成26年5月を目途とする。

6 庶務

本検討会の庶務は、総務省情報通信政策研究所調査研究部が行う。

「ファブ社会」の展望に関する検討会
構成員案

- 岩寄 博論 株式会社博報堂 コンサルティング局
ストラテジックプランニングディレクター
- 岡部 大介 東京都市大学メディア情報学部社会メディア学科 准教授
- 田中 浩也 慶應義塾大学環境情報学部 准教授
- ドミニク・チェン 株式会社ディヴィデュアル 取締役・NPO 法人コモンズフィア 理事
- 古川 英光 山形大学大学院理工学研究科 教授・
山形大学ライフ・3D プリンタ創成センター長
- 水野 大二郎 慶應義塾大学環境情報学部 専任講師
- 水野 祐 シティライツ法律事務所 代表
- 吉村 靖孝 明治大学理工学部 特任教授

<アドバイザー>

- 村井 純 慶應義塾大学環境情報学部 学部長

「ファブ社会」の展望に関する検討会 開催スケジュール

- 第1回 1月10日(金) 17:00-19:00
「ソーシャルファブリケーションで突破する情報社会」
ゲストスピーカー 公文 俊平 (多摩大学情報社会学研究所 所長、
(財)ハイパーネットワーク社会研究所 理事長)

- 第2回 1月31日(金) 9:45-11:45
「デジタルファブリケーションとグローバルインターネット」
ゲストスピーカー 村井 純 (慶應義塾大学環境情報学部 学部長)

- 第3回 2月28日(金) 10:00-12:00
「イノベーションの民主化からファブ社会を考える」
ゲストスピーカー 小川 進 (神戸大学大学院経営学研究科 教授)

- 第4回 3月25日(火) 17:00-19:00
「ファブ社会が創造する文化」
ゲストスピーカー 南條 史生 (森美術館 館長)

- 第5回 5月目途
「『ファブ社会』の総括」 田中 浩也 (慶應義塾大学環境情報学部 准教授)

報告書取りまとめ